加治川中学校だより

入学式及び職員紹介について

かじかわ

教育目標：豊かな知性を育て　きびしく自己をきたえ　高め合う生徒

校訓：明朗　闊達　質朴　　新発田市立加治川中学校　令和４年４月１１日　第１号

４月７日（木）穏やかな春の日に、４１名の新入生を迎える令和４年度入学式を開催いたしました。新入生の表情からは、緊張の中にも、これからの中学校生活への期待が表れていました。

生徒による「誓いのことば」「歓迎のことば」をご紹介いたします。どちらも力強い発表で、素晴らしかったです。なお、校長式辞は加治川中学校のホームページに掲載します。これから加治川中学校のホームページには、学校だよりや学年だよりなどを掲載していきますので、ぜひご覧ください。ホームページアドレス　https://kajikawa-j.shibata.ed.jp/

誓いのことば　新入生代表　小嶋　叶望（こじま　かなむ）さん

緑の木々も芽吹き、美しい花も咲くこの良き日に、私たち四十一名は、新発田市立加治川中学校の一年生となりました。加治川中学校の一員となれたことを心からうれしく思います。

二月、中学校の入学説明会があり、学校紹介と部活動紹介をしていただきました。中学校生活に少し不安な気持ちがありましたが、先輩方のお話を聞いたり、ビデオを見たりしたことで、中学校の様子が分かり、安心することができました。学校紹介では、中学校生活について知ることができました。定期テストや体育祭があり、小学校と少し違う活動もありますが、仲間と助け合い、一生懸命取り組んでいきたいと思います。部活動紹介では、先輩の皆さんが楽しく、真剣に練習に取り組んでいることが分かりました。声をかけ合い、全力で練習に取り組んでいる姿を見て、早く一緒に活動したいと思いました。

私たちはこれから、この加治川中学校の一員として、一生懸命、活動していきたいと思います。上級生の皆さん、私たちが中学校生活を送る中で、とまどうこともあると思いますが、ご指導よろしくお願いします。

最後になりましたが、これからお世話になる先生方、保護者の皆様。本日は、ありがとうございました。これから三年間、わたしたち四十一名は、一人一人、思いやりと、**自分に負けない強い気持ちをもち、何事にも精一杯努力をして、中学校生活を充実させていく**ことを誓います。

転入職員のご紹介

島津　秀人校長　（阿賀町立三川中学校より）

藤原　良孝先生　（新発田市立本丸中学校より）

後藤明日子先生　（新発田市立七葉中学校より）

田村香那子先生　（新発田市立二葉小学校より）よろしくお願いします！

□歓迎のことば　　在校生代表　森谷　知生（もりや　ちはや）さん

加治川の美しい桜が開花し始める時期になりました。今日、加治川中学校に入学された四十一名の新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。私たち在校生は、皆さんの入学を心待ちにしていました。皆さんは今、中学生になるという嬉しさや希望、そして決意を胸に臨んでいることと思います。またその一方で中学校という小学校とはまったく違う新しい環境で心配や不安もあるのではないかと思います。

しかし、心配することはありません。何事も自分一人で抱え込まずに仲間や先輩そして先生方に頼って少しずつ、少しずつできることが増えていきます。

この加治川中学校が目指す学校は**「互いに尊重し合える学校」**です。失敗も優しく笑顔で受け入れてくれますし、また、失敗した人がいれば、優しく笑顔で受け入れてください。

さて、加治川中学校の二大行事を紹介します。

一つ目は体育祭です。中学校では運動会ではなく、体育祭という名前で、赤連合と青連合に分かれて戦います。私たち生徒が主体となり、応援や連合旗など夏休み前から準備を行い、夏休み明けに行います。体育祭には徒競走はありません。自分たちで考えたユニークな競技を行います。思い出に残ること間違いありません。

二つ目は、桜加祭です。合唱コンクールが行われます。合唱コンクールでは、クラス全員が一つにならなければよい合唱になりません。不思議なことに、心が一つになればおのずと合唱もよいものになります。桜加祭も合唱実行委員を中心に生徒が主体となって行います。たかが歌だと思う人もいるかもしれませんが、私は合唱を通して非常に大事なことを学びました。何を学んだかについては、実際に合唱に取り組めばきっと分かるはずです。

次に部活動について紹介します。加治川中学校には、６つの部活動があります。男子野球・卓球、女子バレー、ソフトテニス、男女陸上競技部の運動部５つ、そして男女吹奏楽部の文化部が１つです。現在部活動に所属している生徒は、６月・７月の地区大会やコンクールに向けてがんばっています。私も今、吹奏楽部でコンクールに向けて練習する中で、部活動が楽しく、この部活に入ってよかったと思っています。来週には仮入部が始まります。体験し、よく考えて部活動を決めてください。

最後に皆さんに伝えたいことがあります。それは**今の仲間を大切にしてほしい**、ということです。中学校の３年間はあっという間に過ぎていきます。私はここまで２年間の中学校生活が小学校の２年間の何倍も早く感じられています。　時間はあっという間に過ぎていきます。今、皆さんの周りにいる仲間といられる３年間を一日一日思い出として積み重ねていってほしいと思います。この先、時には困難が待ち受けているかもしれません。しかし、仲間たちの力を借りれば越えることができます。

先ほど言ったように加治川中学校は「互いに尊重し合う学校」を目指しています。互いを尊重し合い、この学校をよりよくしていくのは私たち生徒です。そして、新一年生の皆さん、あなたたちもすでに加治川中学校生徒会の一員です。加治川中学校に新しい風を入れ、私たちの力で私たちのために私たちの学校をよりよいものにしていきましょう。

□学校長式辞

桜のつぼみも大きく膨らみ、春の訪れが感じられるようになりました。

この佳き日に、入学式を迎えられた加治川中学校四十一名の新入生の皆さん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。心より歓迎し、お祝いいたします。（一礼）

新入生の皆さんの顔からは、これからの新しい中学校生活に向けた意気込みが伝わってきます。どうか、今日のこの感激を忘れず、多くの仲間や先生とのふれあいを大切にし、夢と希望をもって、その夢の実現に向けて、たくましく挑戦していく人になって欲しいと思います。

さて、加治川中学校の校庭には毎年綺麗な桜が花を付けますが、桜は春、夏、秋、冬の季節の移り変わりがないと綺麗に咲かない花です。

桜は花を咲かせ、散らせた後、夏にはもう花芽をつけます。そして、秋から初冬にかけて冬眠し、寒さ厳しい真冬に目を覚まします。その後、春に向けて気温が上がるにつれて一気に成長し、綺麗な花を咲かせるのです。

このように桜は、季節ごとの気温の変化がないと綺麗には咲きません。それゆえに四季のある日本にあって美しく咲き誇る桜が、日本を代表する花となったのもうなづけます。

また、桜は、十分に冬の寒さに晒（さら）されることで、早く綺麗な花が咲くそうです。このことは、私たち人間にも当てはまることのように感じます。

「艱難汝を玉にす（かんなん、なんじを、たまにす）」という言葉があります。人間は多くの困難や苦労を乗り越えてこそ、成長し立派になるという意味です。

皆さんも、これまで何度も困難にぶつかり、苦しいことがあっても知恵を絞り、解決に向けて仲間と共に努力したことで、大きな成長を遂げてきたことと思います。中学校入学後も同様に、自分の決めた道を一歩一歩、力強く歩み、困難にぶつかっても粘り強く挑戦し、乗り越え、美しい花を咲かせてください。

桜は一本の木にたくさんの花芽をつけますが、その全てが同時に咲くことはありません。花芽のつく場所によってホルモンの影響が変わり、冬眠の深さに差が出ることで、一つ一つの花の咲く時期が異なってくるのです。

人間も同じように活躍する時期は一人ひとり違います。うまくいかない時は誰にでもあります。それでも努力し続けることで、いつか必ず活躍する日が訪れるのです。つらくとも、自分を信じて、最後まであきらめずに頑張ってください。私たちは、いつまでも皆さんを見守り、応援していきます。

さて、保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。本日より、大切なお子様を確かにお預かりします。私たち職員一同、全力を尽くして、日々の教育活動に取り組み、職責を果たす所存です。また、学校とご家庭が同じ目線で、連携して取り組むことがお子様の大きな成長につながるものと考えます。これからも、子どもたちが苦労を厭わず、知恵を絞って困難に立ち向かい、乗り越えられるよう、ご家庭におかれましても、子どもたちを見守り、支えてくださるようお願いいたします。（一礼）

結びとなりますが、一年生の入学を祝し、これからの大いなる活躍を期待して、式辞といたします。